

荒瀬獅子踊

荒瀬獅子踊については、150年ほど前に集落が大いに遭い、その当時の資料を全部焼いてしまったので定かなものは残っていませんが、秋田佐竹の殿様の参勤交代の道中に踊ったもので、サシモノは参勤交代の大名行列を模したものでありと伝えられています。(市指定無形民俗文化財)



前山郷土芸能

前山郷土芸能の由来は、今から約250年前に先祖の供養、豊年満作と厄除けを祈願するため、雷皇神社に奉納したのが、その起源であると伝えられています。鷹巣地区の民俗芸能は獅子踊りと奴踊りが基本形ですが、この芸能には獅子踊りの好きな兄弟のしぐさをこっけいに演じる「雑魚(じゃこ)釣り舞」というユニークな演目があり、貴重な文化財として今年の6月に市の無形民俗文化財に指定されました。



8月13日、市内各地で伝統芸能が披露されました

川井駒踊り・奴踊りの由来は慶長の初期関ヶ原戦後に遡ります。秋田藩主佐竹義宣公が秋田へ転封の際に失意の旅情を慰め士気を鼓舞するため、随従者で行われた武士の道中芸が能代市道地村藤原家の祖先より米代川舟運での停泊時に伝授され、藩主の巡業をはじめ各地域の豊作祈願、敬神崇祖の伝統芸能として伝承されており、お盆や祭などの際に披露されています。(市指定無形民俗文化財)



川井駒踊り 奴踊り



本城獅子踊りは、獅子踊りと駒踊りが伝承されておらず、現在は奴踊りと棒術が披露されています。150年ほど前に大館地区から伝わった「當田流棒術(とうたりのゆうじゆ) (市指定無形民俗文化財)」の流れをくんでおり、かつては棒だけでなく鎌や太刀の演舞がありました。現在は行われていません。町内を移動する際は、大名行列のように仕立てられています。



本城獅子踊り